

アシスト JPI ユーザー会 Select

“現場力”が実現する運用改善

第2回 開催報告

開催日：2014年8月21日（木）
会場：株式会社アシスト セミナールーム

JPI ユーザー会 Select では、運用の現場で活躍されている皆様が日々、どの様に JPI を活用しているのか、また、更なる運用の効率化や改善のための取り組みを共有して頂くための場を提供しています。

第2回目は、「これからの JPI 業務を考える」をテーマとして、JPI を利用した運用業務の効率化についてディスカッションを行いました。ジョブ管理については大規模環境ならではの効率化、システム監視についてはメッセージ情報の活用から通報の信頼性の向上など、皆様が抱える課題に対して、多数の意見交換やアイデア共有が行われていました。



JPI ユーザー会 Select の様子

セッション：「今、注目される運用オペレーションの自動化」

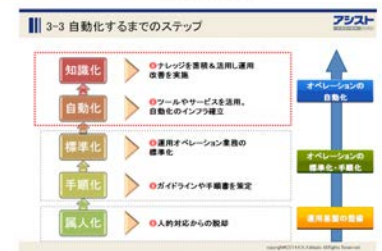
株式会社アシスト システムソフトウェア事業部 技術1部 部長 蝦名裕史



仮想化／クラウドのための自動化への道筋として、「運用業務の自動化」について3つの視点からアシストが考える自動化について発表いたしました。

【3つの視点】

- ・今、何故自動化が注目されているのか？
- ・自動化ツールの浸透が意外と進んでいないのは何故か？
- ・自動化を成功させるための3つのステップ



グループディスカッション：「業務効率化」

ご参加された皆様同士で、業務効率化をテーマとした活発な情報交換が行われました。

交わされたご意見やアイデアの一例

ジョブ管理機能

- 複数のジョブ管理マネージャー間で依存関係のあるジョブのスケジュール調整(お盆など)に苦労している。
- ジョブ異常終了時の再実行を自動化したい。
- 開発から本番にもっと簡単にジョブのリリースがしたい。
- 監査対応で、ジョブ定義や予実績の情報提示が求められるが効率化したい。

監視機能

- JPI/IMが受動的な見るだけのツールとなっている。もっと活用していきたい。
- システムごとに担当者が属人化してしまう。
- 通知手段が停止してしまった場合どうするか？
例えばパトランプの正常動作を確認する処理を定期的に行うなどのアイデアもある。



現場で感じられているご意見・ご要望を活発に討議されていました。ディスカッションには日立製作所様も参加され、ユーザー様のJPIの業務効率につながるアイデアをダイレクトにお伝えいただきました。

参加された皆様の声

終了後に回答頂いたアンケートの結果です。

参加したご感想

- JP1の導入にむけて、ディスカッションでイメージがつかめました。
- JP1の活用やオペレータのレベルアップなど、同様の悩みを抱えている企業さんがいることも分かりました。
- 他社のジョブのリリース方法などを聞くことができて良かった。
- 他企業の方のお話を聞くことができ有意義であった。
- ジョブ管理の効率化について他社の情報が聞けて非常にためになりました。
- 様々な運用環境の話が聞けて参考になりました。
- 初めて参加しましたが、各社の情報を収集でき、収穫があったと感じています。
- メーカーの方とも直接コミュニケーションをとる機会があり良かったと思います。
- もっと他社の意見を聞いてみたかった。
- ディスカッションの時間が少なく感じました。もう少しどのような運用をしているのか聞きたいと思いました。

他社の運用への関心が高いことがわかりました。
ユーザ会としても情報共有の方法を引き続き検討して参ります。

開催テーマについてのご要望

オリジナリティに富んだ
活用方法の事例発表

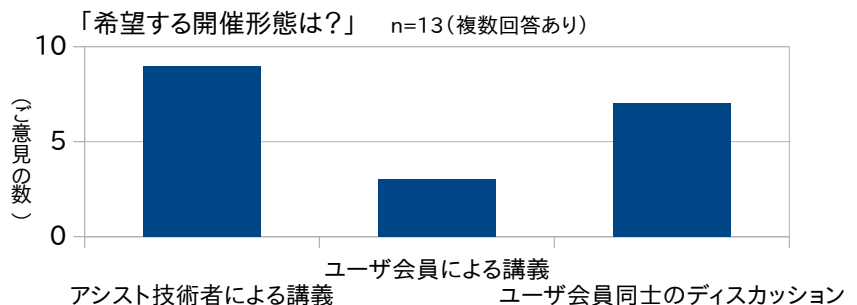
安定稼働させるための
各種テクニック

JP1のバージョンアップ

運用の見える化

開催形態についてのご意見

技術的な内容の講義形式と合わせて、ユーザ会員同士のディスカッションのご要望が多いようです。
また、開催頻度については、年間3~4回のご要望が多く寄せられました。



事務局より

運用をご担当されている皆様は、他社様の状況について見聞きする機会が少ないと伺っております。検索すれば、さまざまな情報がすぐに引き出せる便利な世の中になってはいますが、やはり直接の対話の中から経験やノウハウを共有できるアナログな場も貴重だと感じます。
強い日差しが照りつける猛暑の中、お集まり頂いた皆様が同じ思いを感じて頂ければ、運営側もうれしく思います。今後も多くのユーザ会員様同士が意見交換できる場を提供して参りますので、まだご参加されていない方はぜひ今後開催されるJP1ユーザ会Selectへ足をお運びください。